

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Eribulin(2投1休)+Pertuzumab+ 【BS】Trastuzumab tri-weekly 療法

3 週毎 コース予定
疾患名 乳 癌

主治医 指導医 HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day 1	day 8	day 15
パージェタ(ペルツズマブ)	【初回投与】 840 mg/body	↓		
	【2回目以降】 420 mg/body			
トラスツズマブ BS	【初回投与】 8 mg/kg	↓		
	【2回目以降】 6 mg/kg			
ハラヴェン(エリブリン)	1.4 mg/m ²	↓	↓	休

- 【注意】 * トラスツズマブは投与予定日より1週間以内の遅れで投与する際は6 mg/kg を投与する。
 * トラスツズマブは投与予定日より1週間を越えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8 mg/kg で投与を行う。なお、次回以降は6 mg/kg を3週間間隔で投与する。
 * トラスツズマブは初回投与時90分以上かけて、初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。
 * ペルツズマブは投与予定日より3週間以上後(前回投与日から6週間以上後)に投与する際、改めて初回投与量の840 mg で投与を行う。なお、次回以降は420 mg を3週間間隔で投与する。
 * ペルツズマブは初回投与時60分かけて、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。
 * エリブリンを生食に希釈して投与する際は、0.02 mg/mL 未満の濃度に希釈しないこと。投与量が1 mg 以下の場合、希釈液の量を調節すること。

☆通常量より減量する際の理由☆

Eribulin(2 投 1 休)+Pertuzumab+[BS]Trastuzumab tri-weekly 療法

(レジメン)

day 1

- ① 生食 500 mL で血管確保 維持 (20 mL/時間)
 - ② パーージェタ + 生食 250 mL 点滴静注
【840 mg 投与時】 60 分以上
【420 mg 投与時】 30 分以上
 - ③ トラスツズマブ BS + 生食 250 mL 点滴静注
【8 mg/kg 投与時 : mg】 90 分以上
【6 mg/kg 投与時 : mg】 30 分以上
 - ④ デキサメタゾン注 6.6mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
 - ⑤ ハラヴェン + 生食 50 mL 点滴静注 5 分(600 mL/時間)
- ◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュして抜針

day 8

- ① 生食 250mL で血管確保 維持(20 mL/時間)
 - ② デキサメタゾン注 6.6mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
 - ③ ハラヴェン + 生食 50 mL 点滴静注 5 分(600 mL/時間)
- ◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュして抜針

Eribulin(2 投 1 休)+Pertuzumab+[BS]Trastuzumab tri-weekly 療法

	コース		コース		コース		コース	
	day 1	day 8						
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
パージェタ 開始時刻	↓		↓		↓		↓	
トラスツスマブ BS 開始時刻	↓		↓		↓		↓	
ハラヴェン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認								

	コース		コース		コース		コース	
	day 1	day 8						
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
パージェタ 開始時刻	↓		↓		↓		↓	
トラスツスマブ BS 開始時刻	↓		↓		↓		↓	
ハラヴェン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認								

	コース		コース		コース		コース	
	day 1	day 8						
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
パージェタ 開始時刻	↓		↓		↓		↓	
トラスツスマブ BS 開始時刻	↓		↓		↓		↓	
ハラヴェン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認								